

職員参集(予定・報告)表

()部

	平成()年()月()日()時()分 作成
()部(/)	平成()年()月()日()時()分 発生

発災後の時間	合計 (累計)	課	課	課	課	課	課
30分以内	人	人	人	人	人	人	人
0.5～1時間	()	()	()	()	()	()	()
1～2時間	()	()	()	()	()	()	()
2～3時間	()	()	()	()	()	()	()
3～4時間	()	()	()	()	()	()	()
4～5時間	()	()	()	()	()	()	()
5時間以上	()	()	()	()	()	()	()
時間以上	()	()	()	()	()	()	()

- (注)1 ()内には、累計を記入する。
 2 予定表、報告表のいずれかに○をつける。
 3 予定表については、発生時の記載は不要。

資料 8-6 様式第 3 号 被害状況即報

(火災)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市 町 村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名 _____

爆発を除く。

火災種別	1. 建物 2. 林野 3. 車両 4. 船舶 5. 航空機 6. その他			
出火場所				
出火日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	(鎮圧日時) 鎮火日時	(月 日 時 分) 時 分	
火元の業態・用途		事業所名 (代表者氏名)		
出火箇所		出火原因		
死 傷 者	死者(性別・年齢)	人	死者の生じた理由	
	負傷者 重症	人		
	中等症	人		
	軽症	人		
建物の概要	構造 階層	建築面積 延べ面積		
焼損程度	焼損棟数	全焼棟 半焼棟 部分焼 ぼや棟	棟棟棟 } 計棟	焼損面積 建物焼損床面積 m ² 建物焼損表面積 m ² 林野焼損面積 a
り災世帯数		気象状況		
消防活動状況	消防本部(署)	台	人	
	消防団	台	人	
	その他		人	
救急・救助活動状況				
災害対策本部等の設置状況				
その他参考事項				

(注)第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。
(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

資料 8-6 様式第 3 号 被害状況即報

(特定の事故)

第 報

事故名

- 1. 石油コンビナート等特別防災区域内の事故
- 2. 危険物等に係る事故
- 3. 原子力施設等に係る事故
- 4. その他特定の事故

消防庁受信者氏名

報告日時	年 月 日 時 分
都 道 府 県	
市 町 村 (消防本部名)	
報告者名	

事故種別	1. 火災 2. 爆発 3. 漏えい 4. その他()			
発生場所				
事業所名	特別防災区域	[レアウト第一種 第一種 第二種 その他]		
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分	発見日時	月 日 時 分	
	(月 日 時 分)	鎮火日時 (処理完了)	月 日 時 分	
消防覚知方法	気象状況			
物質の区分	1.危険物 2.指定可燃物 3.高压ガス 4.可燃性ガス 5.毒劇物 6.RI等 7.その他()	物質名		
施設の区分	1. 危険物施設 2. 高危混在施設 3. 高压ガス施設 4. その他()			
施設の概要	危険物施設の区分			
事故の概要				
死 傷 者	死者(性別・年齢)	人	負傷者等	
			重症 人(人) 中等症 人(人) 軽症 人(人)	
消 防 防 災 活 動 状 況 及 救 急 ・ 救 助 活 動 状 況	事業所	出場機関	出場人員	出場資機材
		自衛防災組織	人	
		共同防災組織	人	
	その他	人		
	消防本部(署)	台	人	
	消 防 団	台	人	
	海上保安庁	人		
	自 衛 隊	人		
警戒区域の設定 月 日 時 分 使用停止命令 月 日 時 分	そ の 他	人		
災害対策本部等の設置状況				
その他参考事項				

(注) 第1報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。
(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

資料 8-6 様式第 3 号 被害状況即報

(救急・救助事故等)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都 道 府 県	
市 町 村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名 _____

事故災害種別	1. 救急事故 2. 救助事故 3. 武力攻撃災害 4. 緊急対処事態		
発生場所			
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	覚知方法	
事故等の概要			
死傷者等	死者(性別・年令)	計 人	負傷者等 人(人)
	不明 人		重症 人(人)
			中等症 人(人)
			軽症 人(人)
救助活動の要否			
要救護者数(見込)		救助人員	
消防・救急・救助活動状況			
災害対策本部等の設置状況			
その他参考事項			

(注)負傷者等欄の()書きは、救急隊による搬送人員を内書きで記入すること。

(注)第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。

(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

[災害概況即報]

消防庁受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 _____ 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所				発生日時	月 日 時 分				
被害の状況	死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部破損	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)			(市町村)				

(注)第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

〔被害状況即報〕

都 道 府 県			区 分			被 害			
災 害 名 ・ 報 告 番 号	災害名		田	流失・埋没	ha				
	第 報			冠 水	ha				
報 告 者 名	(月 日 時現在)		畑	流失・埋没	ha				
				冠 没	ha				
区 分			被 害			そ	文 教 施 設	箇 所	
区 分			被 害				病 院	箇 所	
人 的 被 害	死 者		人			の	道 路	箇 所	
	行方不明者		人				橋 り よ う		
	負 傷 者	重 傷	人				河 川	箇 所	
		軽 傷	人				港 湾	箇 所	
住 家 被 害	全 壊		棟			砂 防	箇 所		
			世帯			清 掃 施 設	箇 所		
			人			崖 く ず れ	箇 所		
	半 壊		棟			鉄 道 不 通	箇 所		
			世帯			被 害 船 舶	隻		
			人			水 道	戸		
	一 部 破 損		棟			電 話	回 線		
			世帯			電 気	戸		
			人			ガ ス	戸		
	床 上 浸 水		棟			ブ ロ ッ ク 塀 等	箇 所		
世帯									
人									
床 下 浸 水		棟			り 災 世 帯 数	世 帯			
		世帯			り 災 者 数	人			
		人							
非 住 家	公 共 建 設		棟			火 災 発 生	建 物	件	
	そ の 他		棟				危 険 物	件	
	そ の 他		棟				そ の 他	件	

資料 8-6 様式第 3 号 被害状況即報

区 分		被 害		災害対策本部等の設置状況	都道府県				
公立文教施設	千円					市町村			
農林水産業施設	千円								
公共土木施設	千円								
その他の公共施設	千円								
小 計	千円								
公共施設被害市町村数	団体								
そ の 他	農産被害	千円		災害適用市町村名					
	林産被害	千円							
	畜産被害	千円							
	水産被害	千円							
	商工被害	千円							
					計	団体			
	その他	千円				消防職員出動延人数	人		
被害総額	千円			消防団員出動延人数	人				
備 考	災害発生場所 災害発生年月日 災害の種類概況 応急対策の状況 ・消防、水防、救急、救助等消防機関の活動状況 ・避難の勧告・指示の状況 ・避難所の設置状況 ・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・自衛隊の派遣要請、出動状況								

被害額は省略することができるものとする。

災害被害即報様式(その1 - 人・建物)
1. 人、建物等の被害について

被害区分	発生日時	発生場所		原因	被害者(被害世帯主)				被害の内訳(建物)			備考 (被害発生・消防隊員出動状況、被害状況、被害見込金額等)	
		市町名	字名		住所	氏名	性別	年齢	棟数	世帯数	世帯人数		

被害区分について
次に示す区分により当該番号を記入する。
人、建物等の被害について

1-1	死者	1-2	行方不明者	1-3	負傷者	1-4	り災者		
2-1	住家全壊	2-2	住家半壊	2-3	住家一部破損	2-4	住家床上浸水	2-5	住家床下浸水
3-1	非住家(公共)	3-2	非住家(その他)						
4-1	文教施設被害	4-2	病院被害	4-3	清掃施設	4-4	ブロック塀		
5-1	水道被害	5-2	電話不通等	5-3	電気停電等	5-4	ガス漏れ等		

災害被害即報様式(その3 - 農業関係被害、避難勧告等)

3. 農業関係被害等について

() : No.3

被害区分	発生日時	発 生 場 所		原 因	被 害 対 象				被害面積	備 考 (被害の程度・規模、被害見込金額等)
		市町名	地先名 (字名等)		畑	農作物	耕地	農業施設		

8-1 農作物被害	8-2 農地被害	8-3 農業施設被害	8-4 林地被害	8-5 林道被害
-----------	----------	------------	----------	----------

4. 避難勧告等について(*発、解については該当に丸をつける)

5. 災害対策本部等設置状況について(*発、解については該当に丸をつける)

勸告・指 示	対象地域 (市町、字名等)	発令、解除時間	対象地域 (市町、字名等)	発令、解除時間	対象地域 (市町、字名等)	発令、解除時間
	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :
	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :
	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :	() 発令 : () 解除 :

対策・警 戒	設置発令、解除時間	設置発令、解除時間	設置発令、解除時間	設置発令、解除時間
	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :
	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :
	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :	発令 : 解除 :

*この即報は<パターン> >振興局・地域振興局・県事務所に 8:30、15:30 の提出、本庁に 9:00、16:00 の提出とし(ただし、死傷者、住家全壊、住家半壊、床上浸水、り災世帯等急を要する被害については随時報告)、それ以外の時間帯の報告については<パターン> >4 時間、<パターン> >2 時間の各間隔とし総合防災課から連絡する。

なお、死傷者、行方不明者、住家全壊、半壊については、可能な限り第 1 発見者の氏名も報告する。

災害即報事項例示

事 項	例 示
(1) 市町村災害対策本部設置状況 (設置日時、配備体制等)	台風×号の接近に伴い 月 日 時災害対策本部を設置、第2号配備体制 (職員約 名配置)を指示
(2) 主要河川、ため池の情報 (水位、溢水箇所、決壊箇所等)	川は 地点において 時警戒水位に達し、今後も水位は上昇する 見込である。 川は 地点において 時頃 m にわたり決壊し、浸水家屋多数発 生。現在水防団員 名が出動し、応急復旧作業中。
(3) びわ湖水位上昇に伴う被害状況	びわ湖水位上昇に伴い 地区の湖岸 ha 浸水、農作物 の状態。
(4) 主要道路橋梁の不通状況 交通機関の不通状況	県道 線は 時頃がけくずれのため 地点において不通となった。復 旧の見通しは現在のところ不明、 時以降管内のバス交通はすべて運休。
(5) 電力通信関係の情報 (停電状況、途絶状況等)	時以降管内 地区約 戸が停電中。 時以降町役場と 地区間の電話不通。
(6) 水道施設関係の情報 (断水状況等)	時以降停電に伴い 地区約 戸が断水中、給水車 台を派遣し、緊 急給水中(今後自衛隊の派遣を要請するかもしれない。)
(7) ガス施設関係の情報 (供給停止状況等)	時以降 地区約 戸がガス供給停止、復旧の見通しは不明。
(8) 避難関係の情報 (避難命令発令状況、避難理由、避難世 帯数、避難場所)	川が 地区で決壊するおそれがあるので、時 地区約 世 帯に対し避難命令を発令した。 現在約 世帯が 小学校に避難中。
(9) 死傷者の発生状況 (人数原因等、死傷者の姓名、性別年令)	時頃 において、がけくずれのため男 名が生き埋めになった。現 在地元消防団員約 名が出動し救出にあたっている。
(10) 住家の被害状況 (全壊、全焼、流失、半壊、床上浸水、 床下浸水等の概況、原因等)	川が 地区において、溢水し付近の住宅約 戸が床上浸水した。 昨日来の豪雨により、管内の河川が各所で溢水決壊し、市内一円にわた って約 戸の浸水家屋が発生しているもよう、なお今後も増加する見込 みである。 (災害救助法適用基準に達するかも知れない。)
(11) 非住家の被害状況 (学校、公民館公共的施設、その他主要 な建物の被害状況)	時頃 小学校の講堂、瞬間最大風速 m の強風により倒壊した。
(12) 市町村災害対策本部のとした主な応 急対策実施状況	地区に 時に避難命令を発令。 現在 避難所に収容中の 名に対し、炊き出しを実施中。 川の決壊箇所に消防団員約 名を出動させ応急復旧作業中。
(13) 県への要請事項 (市町村災害対策本部が応急対策を実 施するための必要資機材の調達斡旋に 関する要請等)	川が決壊したので、水防用の土のう 袋至急調達して送付してほ しい。 部落が孤立しているので、カンバン 個を空輸してほしい。 防疫用の薬剤 kg 至急調達してほしい。
(14) 災害写真 (フィルムおよび説明書添付したもの)	住家の浸水、田畑の冠水、道路・堤防の決壊、橋梁の流失、その他重要な 公共建物の倒壊等の被害状況写真。

資料 8-9 被害即報事項例示

事 項	例 示
(15) 雪害状況 (孤立化した場合の住民の動向)	地区で 月 日から連絡つかず、住民の動向が懸念される。
(16) 大規模事故 (交通事故、爆発等により一時的に多数の死傷者の出た事故)	原因、場所、負傷者の状況、とられつつある措置等
(17) 作 業 日 報	<p>市町村における主要な活動状況について毎日 17 時現在で、とりまとめ報告する。ただし緊急なものについてはその都度行う。</p> <p>報告すべき事項は、おおむね次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害対策本部の設置状況(開設、閉鎖の日時) (2) 避難指示の状況、避難場所の設置状況(箇所数、人員) (3) 消防機関の活動状況(作業内容別、団員数、職員数) (4) 応援措置、救助活動の概要 (5) 音信不通、状況の把握できない地区名

68 緊急通行車両申請様式

申 請 書

様式 1 号

緊急通行車両確認申請書		
滋賀県知事 殿 滋賀県公安委員会 殿		
		年 月 日
		申請者住所 (電話) 氏 名 (印)
番号票に表示 されている番号		
輸送人員名 又は品名		
使用者	住 所	
	氏 名	
輸送日時		
輸送経路	出 発 地	経 由 地
		目 的 地
通行の目的		
車両の種類別		
備 考		

証 明 書

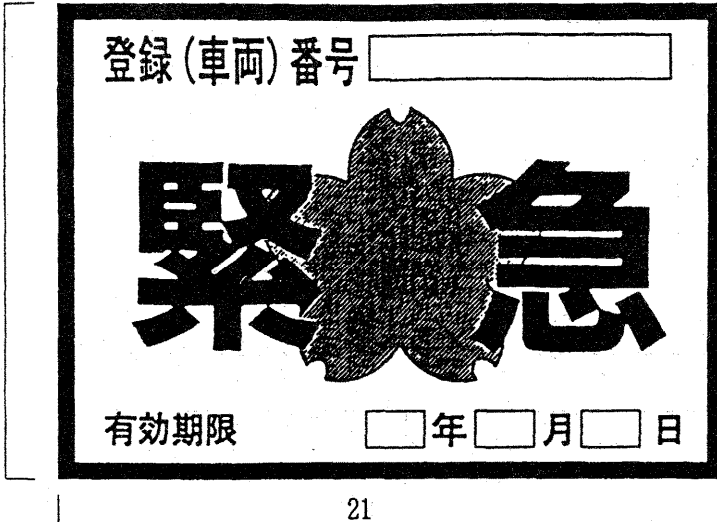
様式 2 号(第 6 条関係)(平 7 総府令 39・全改、平 8 総府令 1・旧様式第 3 繰下・一部改正)

第 号		
		年 月 日
緊急通行車両確認証明書		
		知 事 (印) 公安委員会 (印)
番号票に表示 されている番号		
車両の用途(緊急輸送を 行う車両にたつては、 輸送人員又は品名)		
使用者	住 所	() 局 番
	氏 名	
通行日時		
通行経路	出 発 地	目 的 地
備 考		

(注) 用紙は、日本工業規格 A5 とする。

資料 8-10 緊急通行車両申請様式

(平 7 総府令 39・全改、平 8 総府令 1・旧様式第 2 繰下・一部改正)



The image shows a rectangular application form for emergency vehicles. At the top, it says "登録(車両)番号" (Registration Number) followed by a blank box. In the center, the characters "緊急" (Emergency) are written in a large, bold font, with a stylized leaf graphic overlapping them. At the bottom, it says "有効期限" (Valid Period) followed by three blank boxes for "年" (Year), "月" (Month), and "日" (Day). The form is enclosed in a double-line border. Dimensions are indicated: "15" on the left side and "21" at the bottom center.

- 備考 1 色彩は、記号を黄色、緑及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

避難者カード(1世帯1葉)

No. /

平成()年()月()日現在

避難所名		担当職員名	
------	--	-------	--

住所: 市					地区名	
氏名	続柄	性別	年齢	入所日	事務所記入欄 (退所日等)	
計	男 名	女 名	計 名			

様式1号

避難所収容者名簿

No. /
平成()年()月()日現在

災害年月日		避難所名								
災害種類										
住 所	氏 名	性別	年齢	避難所収容期日						
				月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日

様式2号

避難所開設日誌

災害年月日		避難所名								
災害種類										
月	日	曜日	天気	責任者氏名			記載者氏名			
				印			印			
収容人員		給与に関する事項								
給与人員	朝 食			記事	従事職員の氏名					
	昼 食				その他					
	夕 食									

様式3号

物品出納簿

避難所名 _____
 平成()年()月()日現在

災害年月日		災害種類	品目		
年月日	受入	払出	用途	受領印	残高

資料3.11.1

様式4号

罹災者救助明細書

救助事項別							
取扱書							
住所	罹災者 世帯主氏名	家族の 構成人員	給貸与品	数量	月日	責任 者印	備考

医療救護班診療記録

守山市 No. _____ / _____

救護所名	班 長	
	班 員	
	担当職員名	

年月日	住所	患者氏名	性別	年齢	傷病名	程度	措置概要	備考
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
						重・中・軽		
小計・	人					・	・	

- (注)1 小計・合計欄は、該当しないものを二重線で消すこと。
 2 重症: 緊急高度治療を要する。 中症: 入院治療を要する。 軽症: 入院治療を要しない

医療救護班医療衛生材料使用簿

守山市 No. /

救 護 所 名		班 長	
		班 員	
		担当職員名	

医療品衛生機材品名	単位	単価	摘要	受	払	残	備考
小計・合計							

- (注) 1 救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を明らかにする。
 2 摘要欄は、受入先及び払出先を記入する。
 3 備考欄は、払高数量(使用料)に対する薬を記入する。
 4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

様式1

世帯構成員別被害状況

年 月 日 時現在

守山市 No. /

世帯構成員別 被害別	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	計	小学生	中学生
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	以上世帯			
全壊(焼)													
流失													
半壊(焼)													
床上浸水													

資料 8-15 防疫計画報告・記録、災害防疫活動状況報告

(様式 1)

災害状況報告書

受信者氏名		受信日時	年 月 日 時 分
送信者氏名		所属部局	

第 報

報告機関名		発生年月日	年 月 日	月 日 時	現在の状況	災害の原因	
-------	--	-------	-------	-------	-------	-------	--

1 被害の概要、発生患者数等

市 町 村 名	全 戸 数	全 壊	半 壊	流 失	床 上 浸 水	床 下 浸 水	計	被 害 率	そ 地 域 指 定 の 要 否	そ 族 昆 虫 駆 除 の 要 否	災 害 救 助 法 適 用 無	発 生 患 者 数					備 考	
												患 者	擬 似	保 菌 者	計	死 者		

(県)

2 災害防疫所要経費の概算額

県 分

市町村分

3 感染症指定医療機関の被害の概略

4 その他参考となる事項

(市町村)

2 その参考となる事項

(様式 2)

災 害 防 疫 活 動 状 況 報 告 書

報 告 機 関 名

約束番号		1				2				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
月	区	赤痢患者発生数				前年同期赤痢患者発生数				町 村 数 （ 防 疫 活 動 を し て い る 市 ）	防 疫 所 数 （ 保 健 所 を し て い る ）	保 む （ 保 健 所 職 員 （ 雇 上 職 員 を 含 む ） の 防 疫 活 動 従 事 者 数	本 む （ 本 庁 職 員 （ 雇 上 職 員 を 含 む ） の 防 疫 活 動 従 事 者 数	消 毒 方 法 を 行 っ た 戸 数	そ 族 昆 虫 等 駆 除 を 行 っ た 戸 数	感 染 症 の よ り の 家 用 水 の 供 給 を 受 け た 人 員	災 害 救 助 法 に よ り の 家 用 水 の 供 給 を 受 け た 人 員	検 病 調 査 員	細 菌 検 査 実 施 件 数	集 団 避 難 所 数	集 団 避 難 所 の 収 容 人 員	備 考		
		真 症	擬 似	保 菌 者	死 者	真 症	擬 似	保 菌 者	死 者															
/	当日																							
	累計																							
/	当日																							
	累計																							
/	当日																							
	累計																							
/	当日																							
	累計																							
計	当日																							
	累計																							

報告に際しての注意事項

「赤痢患者発生数」とは、災市(東京都の区に存する区域および指定都市にあっては区)町村における赤痢患者発生数をいう。

「2. 前年、同期赤痢患者発生数」とは「1. 赤痢患者発生数」に対応する期間内に同地域に発生した患者数をいう。

「7. 消毒を行った戸数」および「8. そ族昆虫等駆除を行った戸数」とは感染症予防法の規定により、市町村または都道府県が実施したものをいう。

「15. 備考」には、災地域における赤痢以外の1類から3類感染症患者数、感染症指定医療機関以外への入院患者数および県の執行による実施戸数(消毒方法、そ族昆虫駆除の別に再掲)その他防疫活動に必要なと認める事項を報告すること。

防疫活動終了の時は、その旨報告すること。

防疫活動状況報告の第1回分には、防疫活動の実施計画の概要を併せて報告すること。

行方不明者等受付簿

種別	1 行方不明者	2 身元不明の死体	3 死体引受人のない死体	4 その他	受付番号		
氏名		性別		年齢	位	受付者氏名	
本籍						(氏名)	(届出人)
現住所						(住所)	
死体の現場						(電話)	
識別事項(着衣、所持品、身長、体格等)							
種別	1 行方不明者	2 身元不明の死体	3 死体引受人のない死体	4 その他	受付番号		
氏名		性別		年齢	位	受付者氏名	
本籍						(氏名)	(届出人)
現住所						(住所)	
死体の現場						(電話)	
識別事項(着衣、所持品、身長、体格等)							

死体調書

		番号						
搜索收容者	班 第 班	代表者 氏 名			所 属	部 課		
死体の種別	1.身元不明の死体 2.死体引受人のない死体 3.その他							
死体発見日時	年 月 日 時 分							
死体発見場所								
死 体 の 身 元	本籍							
	現住所							
	氏名		身元不明 者の符号		性 別	男・女	年 齢	歳 位
	識別事項(着衣、所持品、身長、体格等)							
遺 族 そ の 他 の 関 係 者	現住所				(電話)			
	氏名				(死者との続柄)			
	死体の引受け	可 ・ 不可		(引渡し年月日)	年 月 日			
	遺体の引受け	可 ・ 不可		(引渡し年月日)	年 月 日			
見分 日 (検視)時	月 日 時 分		見分 者(検視)					
検案日時	月 日 時 分		検案医師					
火葬許可証 交付日	年 月 日		死体発見現場の概略図					
火葬日								
(所持品の処理)								
(備考)								

死体処理票(氏名札・死体送付表)

氏名札

死体送付票

守山市災害死体	第	号
氏名		

(送付番号)
災害死体送付票
守山市災害死体 第 号
(氏名)を送付する。
年 月 日
(市長)
(火葬場)宛

災害死体番号		
死亡者	氏名	
	住所	
	死亡年月日	
	死亡原因	
	死体発見の 日時・場所	
引取人	氏名	
	住所	
	死亡者との 関係	
	引取年月日	
	処理番号	
	保管所	
備考 (身元不明死体の場合は、死体の特徴等を詳細に記入する。)		
死体収容所		

遺骨及び遺留品処理票

遺留品処理番号		
遺留品		
引取人	氏名	
	住所	
	死亡者との関係	
	引取年月日	
死亡者	死体番号	
	氏名	
	住所	
遺留品保管所		

死体搜索状況記録簿・処理台帳、埋葬台帳

死体搜索状況記録簿

年月日	搜索地区	搜索死体	搜索用機械器具			金額	備考
			名称	数量	所有者氏名		

死体処理台帳

死亡年月日	死亡原因	死体発見の日時及び場所	死亡者		遺族		洗淨等の処理費			死体の一時保存場所 保存期間	備考
			住所 氏名	年齢	住所 氏名	関係	品名	数量	金額		

埋葬台帳

死亡年月日	死亡原因	埋葬年月日	死亡者		埋葬を行った者		埋葬費				備考
			住所 氏名	年齢	住所 氏名	関係	棺 (付属品含)	埋葬又は火葬料	骨箱	計	

別紙 1

被 害 状 況 調

調査時点	日	時現在	発受信者	発	受	
被害の状況			被害数	備 考		
人的被害	死 者					
	行 方 不 明					
	負 傷	重 傷				
		軽 傷				
		小 計				
計						
住家の被害	棟数	全壊・全焼又は流失				
		半壊又は半焼				
		一部損壊				
		床上浸水				
		床下浸水				
	世帯数及び人員	全壊・全焼又は流失	世帯			
			人員			
		半壊又は半焼	世帯			
			人員			
		一部損壊	世帯			
人員						
床上浸水	世帯					
	人員					
床下浸水	世帯					
	人員					
災害発生年月日						

- (注) (1) 負傷のうち「重傷」とは、1月以上の治療を要する見込みのものとし、「軽傷」とは、1月未満で治療できる見込みのものとするが、その区分が把握できない場合は、負傷欄の小計をもって報告すること。
- (2) 「棟」とは、一つの独立した建物をいう。なお、主屋に付着している風呂場、便所等は主屋に含めて1棟とするが、二つ以上の棟が渡廊下等で接続している場合には2棟とすること。
- (3) 「一部損壊」とは、住家の損壊程度が、半壊に達しない程度のものとする。
- (4) 「床下浸水」とは、住家が床上浸水に達しない程度のものとする。
- (5) 住家の被害のうち「棟数」及び「一部損壊」は「決定報告」を除き、知事の指示があった場合に限り報告すること。

(別紙 1 の裏)

災 害 発 生 報 告
 中 決 間 定

発、中、決 発生日時、及び場所	
発、中、決 災害の原因及び被害の状況	
発、中、決 既にとつた救助措置 及びとろうとする措置	
中、決 救助の種類別実施状況	
中、決 救助費の予算措置の状況	
発、中、決 その他必要事項	

※ 災害救助法適用後も情報が入り次第報告のこと。

別紙 2

災害救助費概算額調

種 目 別 区 分	員 数	単 価	金 額	備 考
1 救 助 費				
(1) 収容施設供与費 避難所設置費 応急仮設住宅設置費	延 人			
(2) 炊出しその他による食品給与費	延 人			
(3) 飲料水供給費	延 人			
(4) 被服寝具その他の生活必需品給(貸)与費	世 帯			
(5) 医療および助産費	延 人			
医 療 費	延 人			
助 産 費	延 人			
(6) 災害にかかった者の救出費	人			
(7) 住宅の応急修理費	世 帯			
(8) 生業資金の貸与費	世 帯			
(9) 学用品の給与費	人			
小 学 校 児 童	人			
中 学 校 児 童	人			
(10) 埋 葬 費	人			
大	人			
小	人			
(11) 死 体 の 捜 索 費	人			
(12) 死 体 の 処 理 費	人			
(13) 障 害 物 の 除 去 費	世 帯			
(14) 輸 送 費				
(15) 人 夫 費				
2 実 費 弁 償 費	人			
3 扶 助 金	件			
4 損 失 補 償 費	件			
合 計				

別紙 3

救助実施記録日計票				
救助 の 種 類	避	炊	水	救 出
	修 理	学	死 捜	死 処
	障	○	○	○
	○	○		

○ ○ 市

(責 任 者 氏 名 ㊦)

(地 区 責 任 者 氏 名 ㊦)

No. _____ ○月○日○時○分

員 品 受 払 場 方 記	数 (世 帯) 目 (数量金額) 入 出	先 先 所 法 事
---------------------------------	----------------------------	-----------------------

記入要領

- ① 各救助の種類ごとに作成すること。
- ② 記録票欄外のナンバー欄には記録票作成ごとに一連番号を附するものとし、前回分を訂正する必要が生じた場合、例えばNo. 10の次にNo. 5の分を訂正する場合にはNo. 11 (No. 5訂正) のように記載のうえ前回分No. 5の記録票には朱で×印を附し (No. 11に訂正済) とし、棄却することなくそのままナンバー順に綴っておくこと。なお、救助の実施種類が多い場合には救助の種類ごとに一連番号を附しナンバー順に綴ってよい。
- ③ 記録票欄外の救助の種類別欄の該当の救助名を○で囲み欄内該当欄に必要最小限度の事項を記入する。
- ④ 機械器具等無償で借上げた場合についても記録票を作成する。
- ⑤ 災害救助基金より放出した場合についても同様とする。
- ⑥ 被服寝具その他の生活必需品の給与等で、都道府県調達分と市町村調達分の双方があるときはそれぞれ別個に記録票を作成する。

別紙 4

救 助 日 報

報告機関				受信機関					
送信者				受信者					
報告時間		月	日	時現在		受信時間			
		月	日	時					
避難所開設	開設期間	開設日時	日	時	被 服 寝 具 給 与 生 活	県より受入又は前日より の繰越量		点	
		閉鎖予定日	月	日		本日支給	全失世帯数	(世帯)	点
	既存建物	個所数	ヶ所				翌日への繰越量	半失、床上 浸水世帯数	(世帯)
		収容人員	人					点	
開設	野外仮設	個所数	ヶ所		医 療 ・ 助 産 救 助	医 療 班	医療班出動数	ヶ班	
		収容人員	人				救 助 地 区		
炊出し	炊出期間	開始月日	月	日		診 療 者 数	医 療	人	
		終了予定日	月	日			助 産	人	
	炊出個所数		ヶ所		医 療 機 関	医 療	施設数	ヶ所	
	炊出人員	朝	人				助 産	診 療 人 員	施設数
昼		人		診 療 人 員	施設数	ヶ所			
夕		人			救助終了予定月日		月	日	
計		人							
給水	供給地区数		地区		被 被 者 救 出	救 出 地 区			
	供給実人員		人			救出をした人員		人	
	供給水量		ℓ			今後救出を要する人員		人	
給水期間	開始月日	月	日	救出終了予定月日		月	日		
	終了予定日	月	日	救出の方法					
給水方法									

資料 8-17 災害救助法の適用手続きに関する様式.

学用品支給	県より受入又は前日より繰越量		点	死体の処理	死亡原因別人員			
	本日	小学生	全壊世帯		(人) 点	死体処理	死体洗浄	体
			半壊(床上浸水)世帯		(人) 点		死体縫合	体
	支給	中学生	全壊世帯		(人) 点		死体消毒	体
			半壊(床上浸水)世帯		(人) 点	死体保存	既存建物利用	ヶ所
翌日への繰越量			点	死体保存	仮設建物	ヶ所		
埋葬	前日までの埋葬		点	障害物除去	死体処理機関			
	本日埋葬	大人	体		今後死体処理を要する死体	体		
		小人	体		死体処理終了予定月日	月 日		
		計	体		障害物除去を要する戸数	戸		
	翌日以降の要埋葬数		体		本日除去した戸数	(計戸) 戸		
埋葬終了予定月日		月 日	今後除去を要する戸数	戸				
死体の搜索	搜索地区			輸送	障害物除去の終了予定月日		月 日	
	死体	搜索を要する死体			体	公用車使用	台	
		本日発見死体			体	借上車使用	台	
		今後の要搜索死体			体	救助の種類		
	搜索の方法				人夫雇上数	人		
搜索終了予定月日		月 日	人夫	従事作業				
仮設住宅	着工	月 日	月 日	備考	その他			
	竣工	月 日	月 日					
住宅修理	着工	月 日	月 日					
	竣工	月 日	月 日					

罹災者台帳

(表面)

罹災区分		番号						
罹災者住所			氏名	続柄	性別	年齢	学年	摘要
職業氏名								
災害の原因								
罹災年月日								
罹災場所								
罹 災 状 況	住家							
	その他の家屋							
	家財							
	生命							
	その他							

- (注) 1. 職業氏名欄の氏名は世帯主の氏名を記載する。
 2. 負傷者等については、それぞれの氏名欄の摘要に記載する。

(裏面)

月 日	援 護 状 況 等

- (注) 援護状況等には、救助用支給物資の内容はもちろんのこと、仮設住宅、生業資金、医療救助等救助内容を明記し、できれば義援金品の内容を明記すること。

■罹災証明書発行までの流れ

1. 申請書への記入

「罹災証明願」をご記入ください。

「罹災現認書」を第三者（隣近所の者など）に署名押印してもらってください。

「罹災証明書」の太枠内をご記入ください。

から までの書類を市役所危機管理課へご提出ください。（直接市役所へお越しになれない場合は、同封の封筒をご使用ください。）

2. 現場確認

書類の内容を確認させていただき、市職員が被害の状況を現場確認しに伺います。

3. 罹災証明書の発行

罹災が認定されれば、後日、郵送で証明書をお送りいたします。

押印の忘れがしばしばございます。必ずご確認いただきますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、大変お手数ではございますが下記までご連絡いただければ幸いです。

■守山市役所危機管理課（本庁2階）

〒524-8585

滋賀県守山市吉身二丁目4番 22 号

TEL 077-582-1119 FAX 077-582-0539

罹 災 証 明 願

平成 年 月 日

守山市長 様

住 所

氏 名

印

契約中の保険より災害給付を受けるために必要ですので、下記に相違ないことを証明願います

記

罹災年月日 平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分頃

罹災発生場所

罹 災 状 況

罹 災 程 度

添 付 書 類 1 . 写 真 (有 ・ 無)

2 . 罹災現認書 (・ 写真により確認できる場合は、不要。
・ 住所、氏名欄には、第三者 (隣近所の者等)
に署名捺印をもらっ)

罹 災 現 認 書

罹災年月日 平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分頃

罹災発生場所

罹災状況

罹災程度

上記の物件が平成 年 月 日の により損壊・破損した
ことを現認します。

平成 年 月 日

住 所

氏 名

印

住所、氏名欄には、第三者（隣近所の者等）に署名捺印をもらって下さい。

資料 8-19 り災証明書様式

様式第 2 2 号 (第 36 条 関 係)

署 長	主 幹	係 長	主 査	主 任	係

年 月 日

り 災 証 明 書 交 付 願

湖 南 広 域 消 防 局 消 防 署 長 殿

申 請 者 住 所
氏 名
連 絡 先

り 災 日 時	年 月 日 時 分 ころ
り 災 場 所	
り 災 物 件	
使 用 目 的	
必 要 部 数	通
提 出 先	
り 災 物 件 と 申 請 者 の 関 係	

- 備考 1 り災物件欄は、建物、車両、船舶等または収容物、有価証券、預貯金通帳類を記入してください。
- 2 使用目的欄は、火災保険金請求、固定資産税減免申請等具体的に記入してください。
- 3 提出先欄は、市町役場、税務署、保険会社等と記入してください。
- 4 り災物件と申請者の関係欄は、火元または延焼物件の所有者、管理者、占有者等と記入してください。

第 - 号

り 災 証 明 書

出 火 日 時	年 月 日 時 分 頃
出 火 場 所	
り 災 者 氏 名	
り 災 物 件	
お よ び	
り 災 状 況	

上記のとおり、り災したことを証明する。

年 月 日

湖南広域消防局

消防署長

印

資料 8-20 義援金品受付・配分計画書の様式

義 援 金 品 受 領 書

様式 3 号

	義援金品受領書	No.
(住所 氏名)	殿	
1 現金	金 円也	
2 物資	梱包	
ただし、災害の義援金品として		
上記のとおり受領しました。		
年	月	日
機 関 名		
(取扱者		(印)

- (注) 1. 複写式とし、事前に機関別の通し No. を付しておく。
 2. 控は義援金品受領記録として保管し、関係帳簿への基礎記録とする。
 3. 各機関の財務規則等の定めにより扱う場合は、本様式事項をただし書き等に付記することとして差し支えない。
 4. 物資区分は実情に即して記載する。

現 金 出 納 簿

様式 4 号

年 月 日	摘 要	受	払	残

- (注) 1. 各機関の財務規則等の定めにより扱う場合は、「義援金」の補助口座を設け義援金についての出納を明確にしておく。
 2. 預金と現金は、区別することなく一括経理して差し支えない。
 ただし、区別して経理する必要のあるときは、口座を「現金」「預金」に区分して扱うものとする。
 3. 公共団体の取扱で「雑部金」として保管するときは、「その他保管金」として財務規則等に定める「雑部金受払簿」により「現金出納簿」に別途に経理する。

資料 8-20 義援金品受付・配分計画書の様式

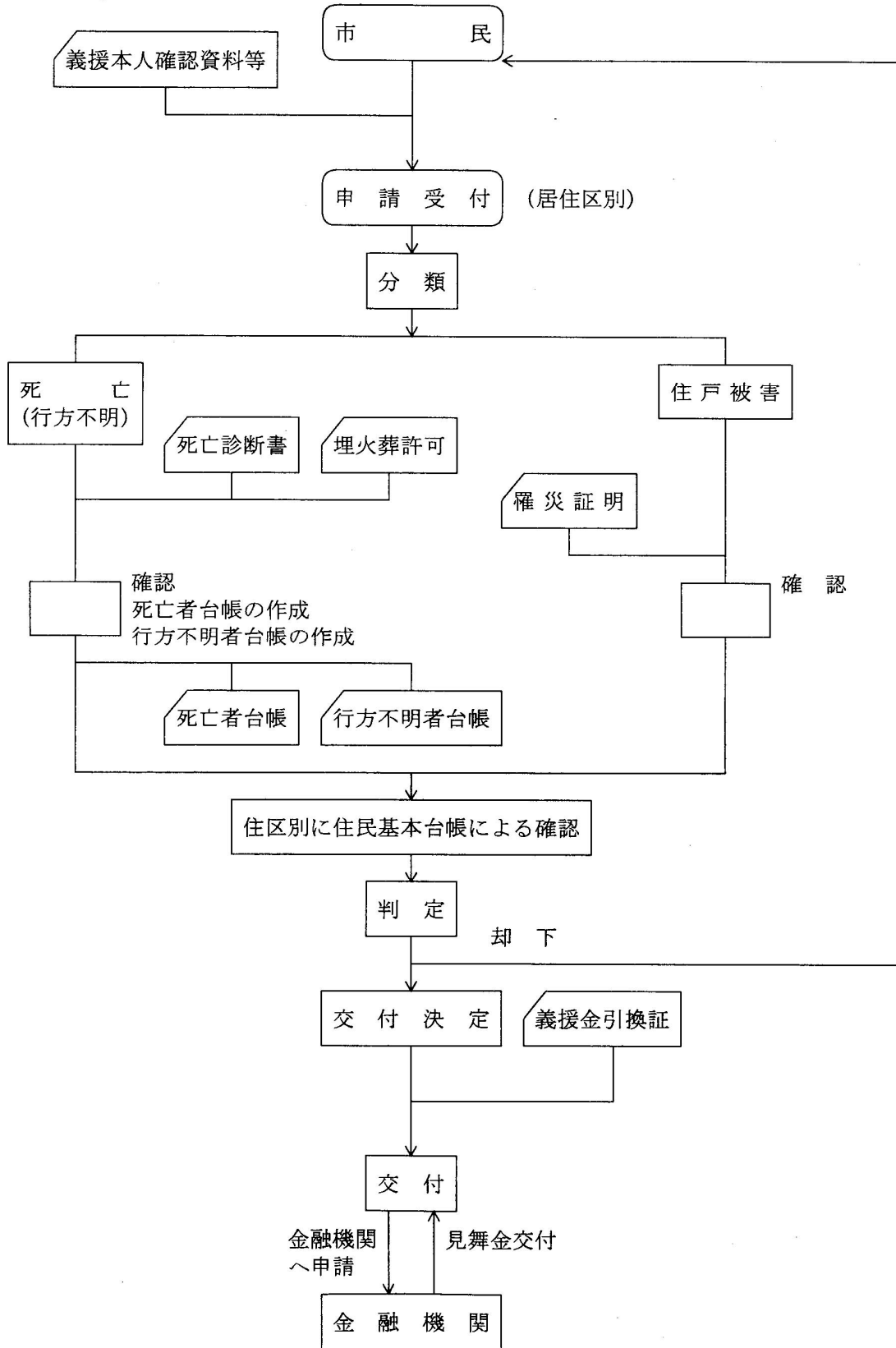
義 援 金 品 受 払 書

様式 5 号

年 月 日	摘 要	受	払	残	て ん 末
5 5 . 9 . 1 0	バケツ 商店より	100 ケ			9.20 配 分
5 5 . 9 . 1 0	衣 類 会社従業員	10 包			9.20 配 分
5 5 . 9 . 1 0	現 金 中学生徒会	5,450 円			9.20 現金出納簿 へ 転 記
5 5 . 9 . 2 0	物 資 町外 2 町村		10 ケ 20 包 50 点		550 点 100 ケ } 2 包とする

- (注) 1. この帳簿は、受入れてから配分するまでの受払いおよびてん末を記録する。
 ただし、現金については現金出納簿へ転記し、そのときに払出記帳をする。なお物資と現金の口座を設け現金出納簿と併用しても差し支えない。
2. 記載方法は記載例に準じ適宜累計を行う。

義援金交付事務手続きの流れ



義援金交付申請書

被災の状況	死亡者名		名簿		死亡証明		
	死亡者名		名簿		死亡証明		
	死亡者名		名簿		死亡証明		
	死亡者名		名簿		死亡証明		
	死亡者名		名簿		死亡証明		
	行方不明者名				名簿		
	行方不明者名				名簿		
	行方不明者名				名簿		
	家屋被害	全壊	半壊			罹災証明	
被災当時同一世帯にあった者（住民登録・外国人登録上）							
住 所				電 話			
家 族	氏 名	生 年 月 日		(住民台帳確認)			
世 帯 主		年 月 日生					
その他同居家族		年 月 日生					
その他同居家族		年 月 日生					
その他同居家族		年 月 日生					
その他同居家族		年 月 日生					
その他同居家族		年 月 日生					
<p>上記のとおり、被災しましたので義援金の交付を申請します。</p> <p style="text-align:center;">年 月 日</p> <p style="text-align:center;">申 請 者 (死亡者 行方不明者との関係)</p> <p style="text-align:center;">住 所 _____</p> <p style="text-align:center;">氏 名 _____ 印 _____</p> <p style="text-align:center;">(現在の連絡先：TEL _____)</p> <p style="text-align:center;">殿</p>							
死 亡	行方不明	全 壊	半 壊	義援金引換証を受領しました。			本人確認
件	件	件	件	氏 名 _____ 印 _____			免許証 保険証 その他
万円	万円	万円	万円				